水銀排出施設設置(使用、変更)届出書

年 月 日

(宛先)

滋賀県知事様

届出者 氏名または名称および住所ならびに 法人にあっては、その代表者の氏名

大気汚染防止法第 18 条の 28 第 1 項 (第 18 条の 29 第 1 項、第 18 条の 30 第 1 項)の規定により、水銀排出施設について、次のとおり届け出ます。

工	場よ	まよ	び	事 業	揚	の	名	称			*整理番号			
工	場よ	まよ	び	事 業	揚	の	所	在	地		*受理年月日	年	月	日
水	銀	排	出	施	設	T)	1	重	類		*施設番号			
水	銀	排	出	施	設	T)	· †	冓	造	別紙1のとおり。	*審査結果			
水	銀扌	⊭出	施	設の	使	用	の	方	法	別紙2のとおり。				
水	銀	等	の	処	理	0)) -	方	法	別紙3のとおり。	*備 考			
参		:	考		事				項					

- 備考 1 水銀排出施設の種類の欄には、大気汚染防止法施行規則(以下「施行規則」という。)別表第3の3に掲げる項番号および名称を記載すること。
 - 2 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 3 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前および変更後の内容を対照させる こと。
 - 4 届出書および別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格 A4とすること。
 - 5 参考事項の欄に、施行規則様式 1 による届出年月日を記載する場合であつて、都道府県知事および大気汚染防止法施行令第 13 条に規定する市の長が別紙 $1\sim3$ の全部および一部を添付することを要しないと認めるときは、別紙 $1\sim3$ の全部および一部を省略することができる

水銀排出施設の構造

工場	および事業	業場に	おける	る施設	ひ番号						
名	称お	ょ	び	型	式						
設	置	年	月		日	年	月	日	年	月	日
着	手 予	定	年	月	日	年	月	日	年	月	日
使	用開始	予分	定 年	月	日	年	月	日	年	月	日
	伝 熱	面	積	(m ²)						
	燃料 (重油換	の 燃 算 L/		能	力						
規	原料の処理能力(t / h)										
模	火格子面 ¹ (m ²)	債又は	羽口	面断i	面積						
	変圧器の	定格領	量空	(kVA	.)						
	焼 却 能	力 (kg /	h)						

- 備考 1 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 2 規模の欄には、大気汚染防止法施行規則別表第3の3の中欄に規定する項目について記載すること。
 - 3 水銀排出施設の構造概要図を添付すること。概要図は、主要寸法を記入し、日本産業規格 A4の大きさに縮小したもの又は既存図面等を用いること。

水銀排出施設の使用の方法

工場又は事業	美場に2	おける施設	番号						
		の使用 月使用日		時~ 時間/回	回/日	時 日 / 月	時~ 時間/回	回/目	時 日/月
使用状況	季	節 変	動						
原材料	種		類						
(水銀等 の排出に	使	用 割	合						
影響のあるものに	原 材 含	料中の水有 割	銀等合						
限る。)	1 日		用量						
燃料	種		類						
(水銀等の排出に	燃料含	中の水銀有 割	等の合						
影響のあるものに	通常	での使り	用 量						
限る。)	混	焼 割	合						
排出ガス量	(N m ;	3 / h)	湿り	最大	通常		最大	通常	
がロスハ重	(11111	/ 11 /	乾き	最大	通常		最大	通常	
排出ガス中	の酸	素濃度(%)						
		全 水	銀						
水銀濃度 (μg/Nm	a ³)	ガス状	水銀						
		粒子状	水銀						
参考	事		項						

備考 1 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とし、平常時の平均的な濃度を記載すること。

- 2 水銀濃度は、水銀等の処理施設がある場合には、処理後の濃度とすること。
- 3 参考事項の欄には、水銀等の排出状況に著しい変動がある施設についての一工程の排出 量の変動の状況、水銀等の排出のために採つている方法等を記載すること。

水銀等の処理の方法

	等の処設番号		との工場	易又は事業	場に	おけ						
処理	に係る			受の工場又	は事	業場						
水銀	等の処	卫理施設	どの種类	頁、名称及	び型	式						
設	Ī	置	年	月		目	年	月	日	年	月	Ħ
着	手	予	定	年 月		日	年	月	目	年	月	Ħ
使	用	開 始	予	定年	月	日	年	月	日	年	月	目
	111		(3	湿	り	最大	通常		最大	通常	
処	排出	ガス量	(Nm	/ h)	乾	き	最大	通常		最大	通常	
χ <u>ι</u>	# #	ガス	油 库	(°C)	処理	里前						
	19F II	1 // // 1	血 皮	(C)	処理	里後						
理	排出	ガス	中の酉	浚素 濃 度	(%)						
				全水銀	処理	里前						
	水銀	濃度		土水弧	処理	里後						
能	7,1320	III /X		ガス状	処理	里前						
	(µ я	(μg / N m ³)		水銀		里後						
				粒子状		里前						
力				水銀	処3	里後						
				全 7	K	銀						
	捕集	効率 (%)	ガスង	犬 水	銀						
				粒子壮	粒子状水							
		1	3 0	使 用	時	間	時~	C	時	時~	~	時
使	用	及び	月 月	使 用 日	数	等	時間/回	回/日	日/月	時間/回	回/日	日/月
状	況	季	節	変		動						

- 備考 1 水銀排出施設において発生する水銀等を排出口から大気中に排出する前に処理するための 施設(集じん機等)について、記載すること。
 - 2 設置届出の場合には着手予定年月日及び使用開始予定年月日の欄に、使用届出の場合には 設置年月日の欄に、変更届出の場合には設置年月日、着手予定年月日及び使用開始予定年月 日の欄に、それぞれ記載すること。
 - 3 水銀濃度は、乾きガス中の濃度とすること。
 - 4 水銀等の処理施設の構造図及びその主要寸法を記入した概要図を添付すること。